

# 海外子会社の不正会計リスクと IT 利用監査の手法

- 日 時 2019年5月8日(水) 13:00~17:00
- 会 場 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 石島 隆氏 法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授  
〔公認会計士、システム監査技術者、博士(創造都市)〕

1980年、中央大学商学部卒業。83年、公認会計士登録。監査法人サンワ東京丸の内事務所(現有限責任監査法人トーマツ)、㈱オービックビジネスコンサルタントを経てセンチュリー監査法人(現 EY 新日本有限責任監査法人)入所。98年、代表社員。2003年、大阪成蹊大学現代経営情報学部(現マネジメント学部)助教授。この間、日本公認会計士協会情報システム委員会(現 IT 委員会)委員、経済産業省・企業のIT統制に関する研究会委員等を歴任。07年より現職。03年より三栄源エフ・エフ・アイ㈱社外監査役、10年より㈱浅沼組社外監査役、アルテ監査法人パートナー、12年より金融庁契約監視委員会委員、日本金融監査協会事務局長、17年より巣鴨信用金庫非常勤理事等を兼務。著書に『情報システムの内部統制』中央経済社、『ITのリスク・統制・監査』(共著)同文館出版 他。各種団体等での講演、セミナー実績多数。

## ●プログラム●

### 〔開催に当たり — 石島講師からのメッセージ〕

内部統制報告制度の導入後も、我が国の上場企業の海外子会社における不正会計事例は後を絶ちません。不正会計は、金銭の着服と財務諸表の粉飾に大別されますが、今回は、このうちの財務諸表の粉飾に焦点を当てます。

本セミナーでは、まず、海外子会社における不正会計リスクと不正会計事例を分析して、どのようなコントロールが不足していたかを整理します。次に、IT利用監査とデータ分析の手法について説明した上で、不正会計発見のためのデータ分析のアプローチ、着眼点及び手法について、具体的に解説します。

是非この機会に関係各位の積極的ご参加をおすすめいたします。

### 1. 海外子会社の不正会計リスク

- (1) 海外子会社の不正会計リスク
- (2) 海外子会社における管理体制
- (3) 海外子会社に対するモニタリング体制

### 2. 海外子会社の不正会計事例の分析

- (1) 海外販売会社における不正会計事例
- (2) 複雑な取引を用いた不正隠蔽事例
- (3) リース取引における不正会計事例

### 3. IT 利用監査とデータ分析の手法

- (1) IT 利用監査のプロセス
- (2) IT 利用監査ツールの機能
- (3) データ分析の体系とシナリオタイプの適用

### 4. 不正会計発見のためのデータ分析の手法

- (1) データ分析の体系と対象データの特定
- (2) 不正発見のための着眼点とデータ分析の手法
- (3) 物品・サービスの流れとキャッシュフローの対応関係に着目したデータ分析の手法
- (4) 決算プロセスにおける不正発見のための着眼点とデータ分析の手法

### <質疑応答>

## ●参加要領●

### ●受講料：1名(資料代含)

正会員	32,400円	一般	35,640円
-----	---------	----	---------

[本体価格 30,000円 本体価格 33,000円]

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

### ●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ  
担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 082-2102-1604/FAX03-5215-0951

191409-0209	5/8 海外子会社の不正会計リスクとIT 利用監査の手法		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			

<弊会ホームページからも申込み可能です。「トップ」→「セミナー・会員研究会」→「03 監査」>